

もいのにぎわい通信

2020年10月24日 定例活動報告

日時：2020年10月24日（土）9:30～11:30

場所：小山町 観音地

天候：晴 気温15～22℃ 湿度59% 風向 北西 風速2.8m

参加者：19人：子ども1人、大人18人（内土地改良区6人）

■活動

9:30 集合・作業打合せ

除草作業

10:30 休憩

クズ蔓切・除草作業・ビニールハウス内の片づけ

11:30 作業終了、片付け、解散

■活動報告

久々の素晴らしい秋晴れの下で定例会が行われ、気持ちよく作業がはかどりしました。

今回は土地改良区から6人、緑の環から13人（うち子供1）でした。合計19人の力が結集し随分と草刈りもクズ蔓の取り外し、枝打ちも進みました。やっぱりこの広い土地で成果が見えるようにするには人数が重要です。新たに前田さんご夫妻の参加が心強かったですし、腰痛から復帰した峰島さんご夫妻も久しぶりにお会いでき嬉しかったです。この他に、小松さんが前日からの体調不良で、木村さんと鈴木さんが日程合わずで不参加となりましたが近況報告のメールをいただきました。中でも鈴木さんは就職が決まったそうで、ここでのボランティア経験が就活時の話題になって会話がスムーズだったそうです。どこの組織もボランティアのひとつもやろうという志のある若い人を欲しがっているものですよ。

7月及び8月の定例活動が中止になり、小山の森は、クズやススキ、その他の草が苗木を飲み込みジャングル状態となってしまいました。9月の3回の作業で散策路の一周を歩けるまでにはなりましたが、今回は更にそれを更に広げる作業です。ビニールハウスの前から池への広場は草刈り済みの範囲がぐっと大きくなりました。

刈払機を使ってバツバツと草を切っていくのは気持ちが良いものです。なんとなく「征服欲が満たされるってこんなかな？」みたいな気がします。ただ時折、草に埋もれた苗を見落として一緒に伐ってしまった時には本当に落ち込みます。また、刈払機をやっていると、後を振り返ってどれだけ自分が草刈りを済ませたかを見たくなります。最後にどれだけ刈れたかを眺めてみると「たったこれだけ？」とガッカリします。残る草の海とかジャングルの面積を想ってしまうからです。刈払機などという文明の利器がなかったら、農地や山をしっかりと保つことがどれほど大変だったかが偲べれます。

もう一つの大事な作業は、クズ蔓を切ったり余分な枝打ちを行うことです。道具は剪定ばさみ、鎌、ノコギリなどを使い人の手でやるしかなく、樹に巻き付いた蔓をはずしていくのは実に時間のかかる仕事です。疲れて嫌になってくると、ツルの恩返しとか、浦島太郎みたいに苗の恩返しなんてのはないのかと良く冗談を言い合ったものです。それでも、その苗木1本を私が救ってやったと思える作業です。

小さな成果でも何本をきれいにしたと結果が見えるのが日頃のフラストレーションの解消になります。デスクワークばかりの方、学生さん、精神のデトックスになりますよ。お年寄りには蔓はずしに指を使ってアルツハイマー防止につながりそうです。

「千里の道も一歩から」、「ローマは一日にして成らず」などと言い聞かせながらやっています。それにしても今日は良い天気でした。

(記録： 金井 章男)

.....

■ お知らせ ホームページもご覧下さい→ <http://www.g-cycle.org/>

次回の定例会は、11月28日(土)(雨天時11月29日(日))に行います。

除草作業・枝の剪定・クズの除去を予定していますので、運動不足解消も兼ね皆さん奮って参加願います。

活動時間は、新型コロナウイルスの影響で当面午前中(9:30~11:30)とします。



集合写真



久しぶりの土地改良区との草刈



草の海と格闘



クズの山に挑戦



チェーンソー故障



前田さんご家族と峰島夫妻



休憩中



世間話に花が咲く



森の雰囲気体験



草刈完了



草刈完了

